

# 令和元年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

寄付者の方から使い道を指定して福井県にいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成31年4月から令和2年3月までに使い道を指定していただいた寄付

件数

2,062件

金額

72,546,996円

## 1 ふるさと母校応援

寄付金額 14,569千円

- 福井県内の各高校で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の1/2は指定先の高校へ、残りの1/2は返還の必要のない県全体の給付型奨学金制度「きぼう応援奨学金」に活用しました。
- 高校では、生徒たちの学習に必要な物品の購入やスポーツ用具等の購入、海外研修の実施に活用しました。
- 平成27年度から毎年約20名の生徒に対して、「きぼう応援奨学金」を3年間給付しています。



【生徒からの感謝の手紙】

## 2 福井県立恐竜博物館の魅力向上応援

寄付金額 5,300千円

- 令和元年度は福井県勝山市における発掘調査やタイなどにおける共同発掘調査を実施するとともに、発掘調査で発見され新種と認められた恐竜などの化石を冬季企画展で展示しました。
- 令和元年度は924,199人の来館があり、2月29日以降に臨時休館したものの、過去3番目の入館者数を記録しました。
- 家庭に居ながら博物館を体感できるようYouTubeで動画配信を行うなど、博物館や恐竜たちの魅力を全国に向けて発信しています。



## 3 高校生の長期海外留学支援

寄付金額 12,840千円

- 高校生のきぼう実現を応援し、国際社会で活躍できる人材を育成するため、平成28年度から高校生の長期留学に対する返済不要の奨学金制度を設け、皆様からいただいた寄付金を財源に1年以上の留学に対して奨学金を給付しています。
- 令和元年度は、香港、アルメニア、ドイツ、スウェーデン、アメリカに留学する高校生6名を奨学生として採用し、奨学金を給付しました。



【奨学生が留学するUNITED WORLD COLLEGESの学生】

## 4 県内大学の魅力向上応援

寄付金額 22,930千円

- 福井県内の各大学で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の4/5は指定先の大学等へ、残りの1/5は「大学連携センター（Fスクエア）」の運営に活用しました。
- 寄付をいただいた大学等では、学習支援室の整備や憩いの空間づくりなど教育活動の充実に活用しました。
- Fスクエアは、共通のサテライトキャンパスとして、ふくいの魅力を学ぶ講義や、大学間の垣根を越えた交流活動を行い、令和元年度は、延べ1万2千人を超える利用がありました。



## 5 福井県民衛星プロジェクトの応援

寄付金額 435千円

- 福井県では、地方発の新たなビジネスモデルの創出に向け、県内外企業が主体となって、超小型人工衛星の製造や衛星データ活用ソフトウェアの開発に取り組んでいます。
- これまでに人工衛星の製造に必要な試験設備の整備を進め、県民衛星「すいせん」を製造したほか、令和2年度はすいせんがカザフスタンのバイコヌール宇宙基地から打ち上げられる予定です。
- 本プロジェクトを通じ、宇宙産業への県内企業の参入を促進するとともに、衛星データを土木・農林など県民生活の幅広い分野で活用します。



## 6 障がい者トップアスリートの夢応援

寄付金額 337千円

- 障がい者アスリートの活躍と夢を応援するため、県内の障がい者トップアスリートが日本代表選手として出場する国際大会や代表合宿への遠征費等を支援しました。
- 令和元年度は、12名の障がい者アスリートを応援しました。ロンドンマラソンやデフバスケット世界選手権等の国際大会で活躍し、県内の障がい者に希望と勇気を与えてくれました。



## 7 農業人材の育成応援

寄付金額 78千円

- 福井県では、農業にかかる多様な人材の育成を進めるため、平成26年にふくい園芸カレッジを開講しており、令和元年度は、新規就農コース31名、地産地消コース58名、スマート園芸コース8名を研修生として受け入れました。
- 令和元年度から、集落営農法人等の後継者やオペレーターを育成するため、新たに越前若狭田んぼ道場を開講し、34名が受講しました。



## 8 ふくいブランド畜産物の普及応援

寄付金額 2千円

- 福井県の牛・豚・鶏のおいしいブランド畜産物を、一人でも多くの人に食べてもらい、味を知ってもらうため、生産者・飲食業者・流通業者が丸一となってふくいブランド畜産物のPRに努めました。
- 令和元年度は、味の祭典等複数のイベント会場において若狭牛、ふくいポーク、福地鶏のふるまいや福地鶏たまごを使ったスイーツの販売などを通して、多くの方にふくいブランドを知っていただきました。



## 9 福井が誇るブランド米「いちほまれ」の応援

寄付金額 495千円

- 「いちほまれ」を日本一のブランド米にするため、生産者を対象に現地研修会の開催や品質を高める実証圃の設置などに活用しました。
- 高温や台風など厳しい気象条件下ではありましたが、日本穀物検定協会が発表した「令和元年産米の食味ランキング」において北陸で唯一、最高評価の特Aを獲得することができました。



## 10 福井県アンテナショップの応援

寄付金額 3,331千円

- 福井県のアンテナショップ「ふくい南青山291」および「食の國 福井館」では、県内の特産品を取り揃え、福井の魅力を発信しています。
- 百貨店や駅等での店舗外販売やネット通販も実施し、福井の知名度向上を図りました。
- また、「ふくい南青山291」ではビジネス支援を行っており、県内企業の販路開拓活動を支援しました。



## 11 国体クラブチーム応援

寄付金額 50千円

- 平成30年度に開催した福井しあわせ元気国体で強化が進んだクラブチームの自立を応援しています。
- 令和元年度は、ラグビーフットボール競技(女子)、ホッケー競技(女子)、ソフトテニス競技(男女)のクラブチームの遠征やユニフォーム作製を支援しました。



## 12 県民活動チャレンジ

寄付金額 242千円

- 県民の活動を県がバックアップする「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」を実施し、若者部門・女性部門合計57件のプランが集まりました。
- 応募いただいたプランの中から、持続可能な地域づくりや福井の魅力発信などをテーマにした12事業を採択しました。



## 13 豚コレラへの支援

寄付金額 790千円

- 福井県内の養豚場2戸でそれぞれ7月と8月に発生した豚コレラに対し、防疫措置を行いました。
- 福井県では豚コレラの被害を受けた2戸に対し見舞金を支給するとともに、他の養豚場への衛生管理強化への支援や飼養豚への豚コレラワクチン接種および野生イノシシの捕獲強化等飼養豚への豚コレラ感染を防ぐ取り組みを実施しています



## 14 ふるさと起業家のチャレンジ応援

寄付金額 11,148千円

- 地域課題の解決などに取り組む県内事業者のプロジェクトを応援するため、ふるさと納税を活用してクラウドファンディングによる寄付募集を支援しています。
- 令和元年度は寄付を募集した11プロジェクトのうち10プロジェクトが目標を達成しました。
- 古民家ゲストハウスの土蔵改修や農業体験の拠点整備などのプロジェクトが実現しています。



# 令和元年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

使い道のご指定なくいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成31年4月から令和2年3月までに  
いただいた寄付

件数 41件

金額 4,252,500円

い使  
た途  
だを  
い定  
ため  
もず  
のに

## 1 芸術教育推進事業

寄付金額 1,630千円

- 小・中・高の弦楽推進校に年間を通してプロ奏者を派遣し、児童・生徒が技術指導を受けられるようにしました。
- 児童・生徒・指導者が一流の弦楽奏者の演奏を聴き、指導を受ける機会を設けました



## 2 新ふくい3人っ子応援プロジェクト

寄付金額 2,522千円

- 3人目以降の子どもの保育料や一時預かりサービス、病児デイケアの利用料を無料化し、3人以上のお子さんがある家庭の子育てを支援しました。
- 令和元年10月からは、国の幼児教育無償化に伴い新たな負担が生じないよう、3人目以降の子どもの副食費を補助することとしました。

